

爆音映画祭

BAKUON FILM FESTIVAL

in 裾野 2020

水が滴る幽かな一滴の音から、
スクリーンの裏で本人たちが演奏しているかのような臨場感まで。



1.25土

裾野市民文化センター
多目的ホール

●主催：裾野市民文化センター TEL055-993-9300 〒410-1117 静岡県裾野市石脇 586 番地 裾野市民文化センター 検索
休館日：毎月第1,3,5月曜日（祝日に当たる場合はその翌平日）年末年始 12/29-1/3 開館時間：8:30-21:30
●企画制作：株式会社 boid ●音響監修：樋口泰人（爆音映画祭プロデューサー） ●後援：裾野市 / 裾野市教育委員会

爆音映画祭とは？

爆音によって視覚までもが変容して映画そのものも違って見える、大音量でなければ聴こえてこない“幽かな音”を聴くという、大胆かつ繊細な、**あたらしい映画体験**です。

「爆音」という響きに抵抗を感じる方もいらっしゃいますが、単に「大きな音で映画を観る」ということではありません。通常の上映より多くの音響装置を備え、作品のシーンに合わせて、**そのシーンの魅力を最大限に引き出す**大きさに音響の調節をして、映画をより楽しんでもらおうという試みです。

そして、今回の音響調節を担当しているのが、「**爆音映画祭**」の生みの親、boid 主宰の樋口泰人氏です。

今はなき東京・吉祥寺パウスシアターを拠点に、爆音上映は2004年に産声をあげ、08年からは爆音映画祭として始動しました。現在は全国の映画館、公共施設、ライブハウスなどにて爆音上映&爆音映画祭をboidで企画制作しています。水が滴る幽かな一滴の音から、まるでスクリーンの裏で本人たちが演奏しているかのような臨場感まで。音がもたらす「あたらしい映画体験」をお楽しみください。



樋口泰人

1957年山梨県生まれ。『キネマ旬報』『エスクァイア』『スイッチ』『スタジオボイス』などで映画批評やレビューを執筆。90年代は『カイエ・デュ・シネマ・ジャポン』の編集委員、その後編集長を経て、ビデオ、単行本、CDなどを製作・発売するレーベル「boid」を98年に設立した。2004年から、東京・吉祥寺パウスシアターにて、音楽用のライブ音響システムを使用して爆音上映シリーズを企画・上映。08年より始まった「爆音映画祭」はパウスシアター閉館後も、全国的に展開中。

著書に「映画は爆音でささやく」(boid)、「映画とロックンロールにおいてアメリカと合衆国はいかに開けたか」(青土社)、編書に「ロスト・イン・アメリカ」(デジタルハリウッド)。最近の主な配給作品に「地獄の黙示録 劇場公開版」「地球に落ちてきた男」「PARKS パークス」「遊星からの物体X (デジタル・リマスター版)」「TOURISM」「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ザ・ウェスト」など。

●boid <http://www.boid-s.com/>
●爆音映画祭 <http://www.bakuon-bb.net/>

湯を沸かす熱い愛



配給：クロックワークス (2016年/125分)

監督：中野量太

出演：宮沢りえ、杉咲花、伊東蒼、松坂桃李、オダギリジョー ほか

(C)2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会

「最高の愛をこめて、葬(おく)ります。」

銭湯「幸(さち)の湯」を営む幸野家ですが、父・一浩の出家で休業状態。そんな中、母・双葉は持ち前の明るさと強さで、パートをしながら家族を養っていました。

しかし突然、ガンで「余命わずか」という宣告を受けることに……。

その日から彼女は「絶対にやっておくべきこと」を決め、実行していきます。そんな母の行動に、

家族はぶつかり合いながらもより強い絆で結びついていき、究極の愛で母を葬ることを決意するのでした。

人間味あふれる双葉を宮沢りえが、気弱で引きこもり寸前の娘・安澄を杉咲花が、頼りないけれど

なぜか憎めない父・一浩をオダギリジョーが、旅先で双葉と知り合い人生を見つめなおす青年・拓海を

松坂桃李が演じます。

「死にゆく母と、残される家族が紡ぎ出す愛」という普遍的なテーマながら、驚きの展開とラストで、

タイトルに込められた意味が明らかになります。

監督は、本作で初めて商業映画を手掛けた中野量太。本作で第41回報知映画賞新人賞、第40回日本

アカデミー賞優秀監督賞・優秀脚本賞、第31回高崎映画祭最優秀監督賞、第38回ヨコハマ映画祭監督賞・

脚本賞等、数々の賞を受賞。

THE BEATLES EIGHT DAYS A WEEK THE TOURING YEARS



配給：KADOKAWA (2016年/109分)

監督：ロン・ハワード

出演：ジョン・レノン、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、リンゴ・スター ほか

(C)2016 Apple Corps Limited.

誰もが知っているバンドの、知られざるストーリー。

バンドのリヴァプール時代から、1963年に始まった15ヵ国90都市166公演におよぶツアーの様子と世界中の熱狂の様子、そしてザ・ビートルズの4人が最後に観客の前で演奏した1966年8月29日のサンフランシスコ・キャンドルスティック・パーク公演まで、まさにバンドの全盛期を多数のライブ映像で描きます。

さらに、著名人や関係者のインタビューを織り交ぜながら、彼らの曲の変遷と驚異的な人気の理由を探ります。

監督は、『ダ・ヴィンチ・コード』『天使と悪魔』『ハン・ソロ/スター・ウォーズ・ストーリー』などの

人気作を手掛け、『ビューティフル・マインド』でアカデミー賞監督賞・作品賞を受賞したロン・ハワード。

プロデューサーは、『ジョージ・ハリスン/リヴィング・イン・ザ・マテリアル・ワールド』

『ボブ・ディラン ノー・ディレクション・ホーム』等の名作音楽ドキュメンタリーを手掛ける

ホワイト・ハウス・ピクチャーズのナイジェル・シンクレアとスコット・バスケット。

※日本語字幕上映

■ 10:00-12:05 ■ 15:25-17:30 ■ 12:50-14:39 ■ 18:15-20:04

爆音映画祭 in 裾野 2020 のチケット 2回分で オリジナルステッカーをプレゼント！

●2作品分、または同じ作品でも時間が異なる回をご購入の方が対象です。裾野市民文化センター窓口でチケットをお引き取り、またはご提示の際にお渡しいたします。
●先着順のため、なくなり次第終了します。

全席
自由

前売 ¥1,800 裾野市民文化センター
アザレア友の会 ¥1,500

価格は税込 当日券 各 ¥200 増

チケット発売 2019年11月22日(金) 10:00 から
裾野市民文化センター 窓口・電話・オンラインチケットサービス その他プレイガイドにて

チケット取り扱い

裾野市民文化センター・・・055-993-9300
御殿場市民会館・・・0550-83-8000
小山町総合文化会館・・・0550-76-5700
長泉町文化センター・・・055-989-0001
沼津市民文化センター・・・055-932-6111
田代新聞センター・・・055-993-3111
TSUTAYA すみや三島店・・・055-981-8151
ローソンチケット・・・0570-084-004
(Lコード 42773)

●開場は各回上映開始の30分前です。
●1回の上映につき1枚のチケットが必要です。
●予告編を挟まず、開演時間より本編の上映がスタートいたします。
●完全入れ替え制です。チケットを複数お持ちの場合も、一回の上映が終わるごとにご退席いただきます。